

1 教科について

国語

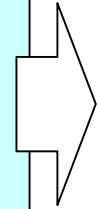
「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **80.6%** 市平均 **78.5%**

昨年度の課題

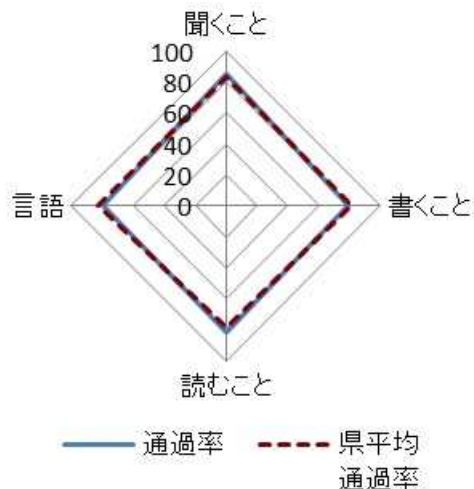
- ① 文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえること。
- ② 文脈を踏まえて語句の意味を正確にとらえて、理解すること。
- ③ 自分の考えを効果的に伝えるために、適切な理由を明確にして書くこと。

**昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項**

- ① 登場人物の心情をとらえるために、文章の展開を考える際、時間の流れや情景描写に着目させること。
- ② 語句の意味を正確にとらえられるように、辞書を活用したり、ワークの資料を活用すること。漢字プリントの例文に難解な語句の意味を補足しておくこと。
- ③ 文法の学習指導では、既習事項についての振り返りを必ず行った上で、新しい内容・事項に入ること。
- ④ 文章を読むときの事実と意見の読み分けを、書くときの叙述の仕方に役立てること。



領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの生徒割合(国語)



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
◇ : 全国学力・学習状況調査

◎・・・主語・述語の関係をとらえる等、基礎的な文法事項。

◎・・・文脈上の語句の意味を正確にとらえること。

◇・・・文章の展開に即して内容をとらえること。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「僕は・私は～と思います。」など、主語・述語を意識させた発言をさせる。文法事項を取り扱う際に確認テスト等を実施し、既習事項の確認を必ず行う。授業展開においても、主語を意識的に問う。
- ② 目的に応じた読書を勧め、意味のわからない言葉は辞書を引く習慣を身につけさせる。
- ③ 文章の中心的部分を示す言葉があることに気づかせ、内容に鋭く切り込ませる。

今年度の評価指標 ○ 年度末に「基礎・基本」定着状況調査の課題あった問題について再度調査を実施し、平均通過率を83%にする。

指導方法等の改善計画について

数 学

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **78.6%** 市平均 **71.9%**

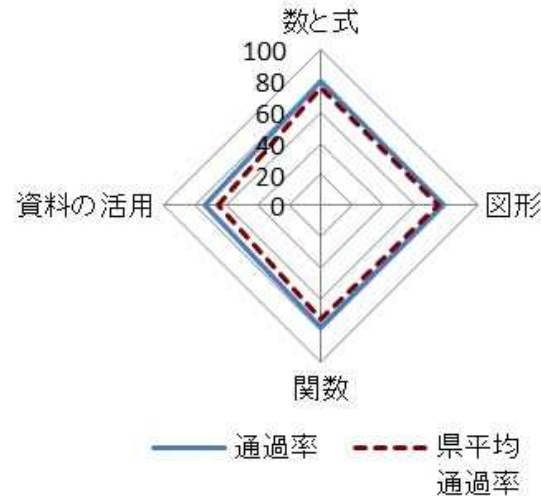
昨年度の課題

- ① 文章を読み、その関数を文字式で表すこと。
- ② 角錐の体積の求め方。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 計算を書かせるだけでなく、式をつくる問いを普段から取り入れ、式に慣れさせること。
- ② 角錐の導入時に実験によって、角錐の体積が角柱の体積の3分の1になることが印象に残るようにすること。

領域別平均通過率(数学)



通過設問数ごとの生徒割合(数学)



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・(数量関係) 数量の関係を文字を使った式で表すこと。
- ◎・・・(図形) 角錐と角柱の体積の関係をとらえること。
- ◇・・・問題解決の方法を数学的に説明できること。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 数量の関係をまず図に表し、図から関係を読み取ったり、言葉の関係式から文字を使った式に変換できるようにする。
- ② 角錐の導入時に、実際の実験によって、角錐の体積は角柱の体積の3分の1になることを視覚的に印象づけるようにする。
- ③ 日頃の授業において、答えだけでなく、解法の手順や理由を数学的な表現を用いて根拠を明らかにしながら筋道立てて説明できるようにさせる。そのために、いろいろな説明の仕方にふれさせる。

今年度の評価指標

○ 年度末に「基礎・基本」定着状況調査の課題あった問題について再度調査を実施し、平均通過率を80%にする。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

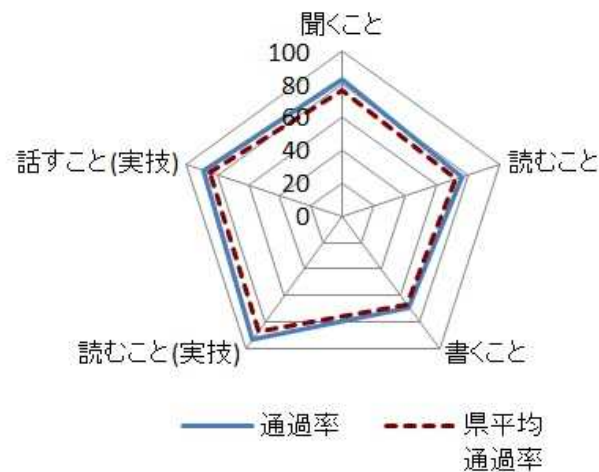
- ① be 動詞と一般動詞を使い分けること。
- ② 形容詞などの品詞の区別や、文の組み立てを理解すること。
- ③ 自分の考えや体験を表現する際の文章の組み立て方や英語表現の仕方。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 語順ドリルや口頭練習などにより、文の組み立てに関する理解を図るとともに、応用問題を繰り返し行い定着を図ること。
- ② 既習の文法事項を使って自分のことや考え、体験などを英文にする機会を多く仕組み、まとまったつながりのある英文を書く場面を仕組むこと。
- ③ スピーキングテストなど英問英答で疑問詞のある質問文に的確に答えられるように、事前に各内容を整理した上で、ペアワークやインタビュー活動などを仕組むこと。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **78.6%** 市平均 **72.2%**

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査

- ◎・・・音声から文字へ移行すること。
- ◎・・・be 動詞と一般動詞の使い分けること。
- ◎・・・文の流れの中で、文のきまりを正しく理解した英作文を書くこと。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

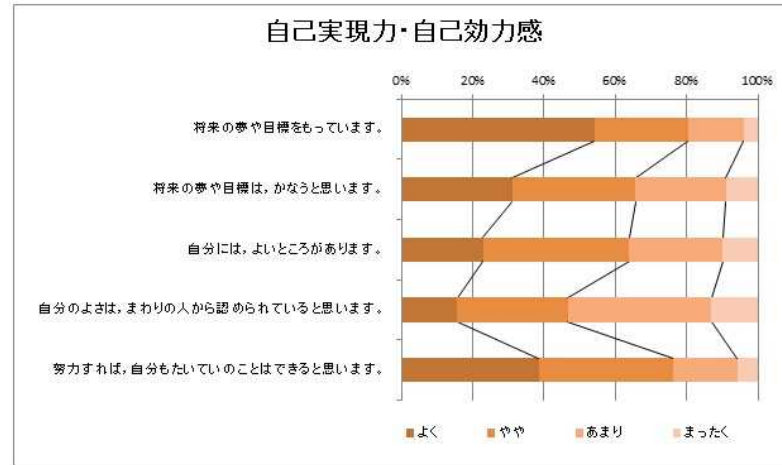
- ① 毎日ノートで練習する単語・表現を指定し、それについて毎週繰り返し単語テストをすることにより定着を図る。
- ② be 動詞と一般動詞の違いをしっかりと理解させた上で、パターンプラクティスなどの口頭練習で基本文を繰り返し練習する機会を多く設け、適宜応用問題を取り入れて実践練習をさせていく。
- ③ まずは教科書の文章を用いて、まとまった内容の文章を読み取る練習をし、その上で長文の穴埋めや和文英訳、指示語の内容の特定などを通して、確実な理解を図る。

来年度の目標値

- 年度末に「基礎・基本」定着状況調査の課題あった問題について再度調査を実施し、平均通過率を80%にする。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査, 生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙, 生徒質問紙)

(1) 生活・学習

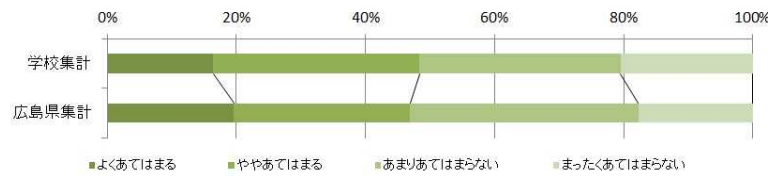


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎◇・・・自己肯定感が低く、自信のない生徒が多いこと。 ◎・・・学習習慣が身につけていない生徒が多いこと。 ◎・・・読書の習慣は少しずつ身に付いてきてはいるものの、話題にしたり、学習に活用できていない生徒が多いこと。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査により実態を細かく分析し、原因を究明する。 学校行事や委員会活動、生徒会活動等において、明確なめあてをもって取り組ませ、成功体験をさせる。 家庭学習ノートの取組の質的な向上を図る。 国語の授業や学級活動において計画的に読書紹介をしたり、朗読会等を実施する。 各教科や総合的な学習の時間において、図書館を活用する。

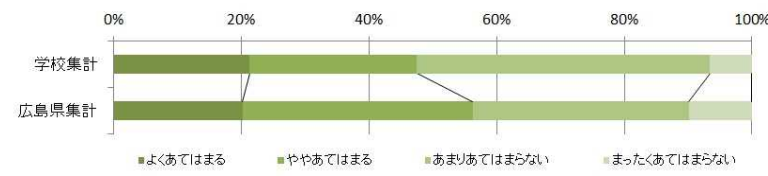
来年度の目標値	目標内容
	<ul style="list-style-type: none"> 自分のよいところを認められる生徒を70%にする。 読んだ本の内容について、友達や家族と話題にできる生徒を60%にする。

(2) 教科

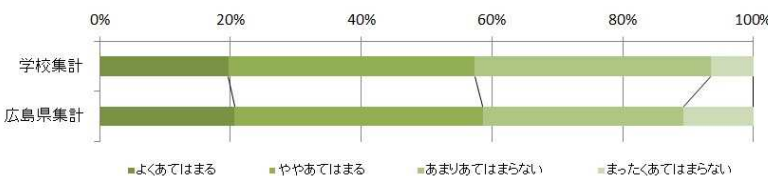
国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。



数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、言葉の式や図を使って考えています。



英語の授業では、知らない表現が出てきた場合、これまでに習った他の表現を使って話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎・・・漢字などの繰り返し学習をするのが、好きではない生徒が多いこと。 ◇・・・国語の学習に有用性を感じていない生徒が多いこと。	<ul style="list-style-type: none"> 一律に取り組ませるのではなく、生徒の習熟度に合わせた個別指導を行う。家庭学習における漢字練習に任せず、授業において漢字を取り扱う。 生徒の日常生活と密接に結びついた授業展開を工夫すること。
数学	◎・・・文章に書かれている関係を式で表すために、言葉の式や図を使って考えることが苦手である。 ◇・・・学習した内容を普段の生活の中で活用できないかを考えずに生活をしている生徒がおおよそ半数いること	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方でできる教材を精選し、グループ学習を授業の中に取り入れる。そして、いろいろな解決方法を交流することで共通理解を図る。 学習した内容が日常生活の中で具体的にどのように活用されているか紹介していく
英語	◎・・・知らない表現が出てきたとき、既習表現に置き換えて話すことができない生徒が多いこと。 ◎・・・ペアやグループなどで活動する中で、話が続くようにつなぎ言葉などを用いて話すことに困難を感じている生徒が多いこと。	<ul style="list-style-type: none"> 普段の授業の中で教師が積極的に既習表現を使って話すなどして使い方を理解させ、ペアワークなどで練習させる。 ペアやグループで会話する際に、使用できる反応表現やつなぎ言葉を紹介し、生徒が会話の中で使えるようにする。

来年度の目標値	目標内容
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字などの繰り返し学習が好きで生徒を60%にする。 数量関係を言葉の式や図を使って式で表せる生徒を60%にする。 英語の授業で自分の考えや気持ちなどを自分の知っている英語で話す生徒を60%にする。

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
Plan			Do			Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施						次年度の計画			
【教科】	中学校区小・中連携 教育研究会①		中学校区小・中連携 教育研究会②							
国語	調査問題検討	前期期末テストによる 検証	授業における漢字学習 学力向上総合対策事業 研究授業⑥	文法確認テスト	後期中間テストによる 検証 授業における漢字学習	調査問題の実施①・ 分析 授業における漢字学習 文法確認テスト	調査問題の実施② 授業における漢字学習 後期期末テストによる 検証	実態と課題分析 次年度への取組		
数学	調査問題検討	休み明けテスト，前期 期末テストによる 検証 グループ学習による 意見交流	習熟度度に応じたプリント 学習 個別指導	学力向上総合対策事業 研究授業⑦ 授業における問題解決， 意見交流	学力向上総合対策事業 研究授業⑧⑨ 後期中間テストによる 検証	調査問題の実施①・ 分析 休み明けテストの検証・ 学習のまとめの振り返り・ 個別指導	調査問題の実施② 後期期末テストによる 検証	家庭学習の習慣化 継続したい教材研究 実態と課題分析 次年度への取組		
英語	調査問題検討	単語テスト 休み明けテスト，前期 期末テストによる 検証 暗誦活動による基本 文定着の取り組み	単語テスト 前期期末テストの 振り返り 口頭練習を通じた自己 表現力向上の取り組み	単語テスト スピーキングテスト やペア・グループによる 活動を通じた会話力・ 自己表現力の向上の 取り組み	単語テスト 後期中間テストによる 検証 暗誦活動による基本 文定着の取り組み	調査問題の実施①・ 分析 学力向上総合対策事業 研究授業⑩ 単語テスト 暗誦活動による基本 文定着の取り組み	調査問題の実施② 単語テスト 口頭練習を通じた自己 表現力向上の取り組み 後期期末テストによる 検証	単語テスト 実態と課題分析 次年度への取組		
【生活・学習】	ピースボランティア	体育祭	合唱祭	教育相談	教育相談 生徒会役員選挙 大掃除	2年修学旅行		卒業証書授与式 校内美化ボランティア 大掃除		
	家庭学習ノート (毎日 ※毎週月曜日点検)	→								
	朝読書の充実 図書館利用啓発活動	→								
						生徒アンケート実施・ 分析	教員アンケート実施・ 分析			